

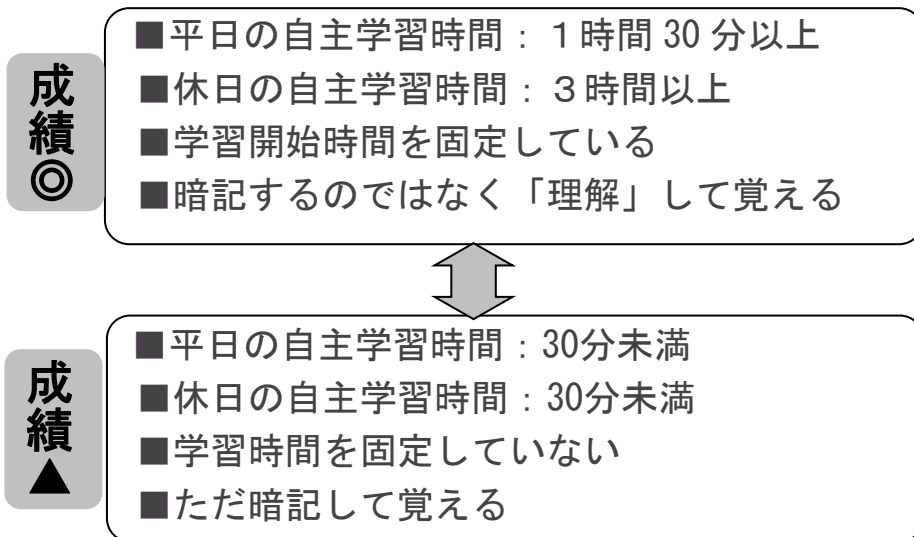
1. スタディーサポートが終了しました!

昨日、スタディーサポートが終わりました。このテストは、合格・不合格が決まるような試験ではなく、いわゆる「健康診断」のようなものです。結果が帰ってくるのはもうしばらく後ですが、結果よりも今後どのように勉強をするかがはるかに大事です。

今できることは早速復習することです。高校1年4月のスタディーサポートは中学校の内容を手っ取り早く復習するには持って来いです。

「高校生活のスタート」ということで、高校入学半年後に成績がよかった人とよくなかった人の学習スタイルについておもしろいデータがあるので紹介します。

高1秋に成績がよかった人(成績◎)・よくなかった人(成績▲)の学習スタイル



※データは、2020年度スタディーサポート1年生第2回全国集計結果より。「成績◎」はGTZ(学力): S1~S3(難関大合格レベル)、「成績▲」はD1~D3(基礎・基本養成レベル)の生徒の平均回答率。の平均回答率。 ※「GTZ(学力)」は、学力の到達度をS1~D3の15段階の大学群で表示したものです。

上記のように、成績◎と成績▲では、学習時間の確保や、学習のやり方に大きな違いが見られます。半年後もよい成績を維持できるよう、成績◎を参考にして、今から着実に高校生の学習スタイルを身につけていきましょう。

2. 春休み中の課題について

さて、今回のスタディーサポートにおいて、中学の内容が復習できる「スタディーチャージ」を昨日みなさんは提出しました。期限までに課題を出すのは**目標**です。目標には必ず目的があります。目的を見失い目標を達成することだけを考えると、「形」しか残りません。

今回のスタディーチャージ、春休み中の課題 — 目的を達成できるような取り組み方でしたか?

「目的」と「目標」を区別して考える習慣を持つと人生が変わります。

コラム 童話「3人のレンガ積み職人」～目的と目標～

中世のとある町の建築現場で3人の男がレンガを積んでいた。

そこを通りかかった人が、男たちに「何をしているのか？」と尋ねた。

- 1人目の男は 「レンガを積んでいる」
- 2人目の男は 「食うために働いているのさ」
- 3人目の男は 「後世に残る町の大聖堂を造っているんだ！」と答えた。

★ 3人の中で誰が一番すごい建物を造れそうでしょうか？

★ 3人の中の誰に仕事を頼みたいですか？

3人の男たちにとって「目標」は共通。

1日に何個のレンガを積むとか、工期までに自分の担当箇所を仕上げるといったこと。

しかし「目的」は3人ともバラバラ。

- 1人目の男は目的を持っていない。
- 2人目の男は生活費を稼ぐのが目的。
- 3人目の男は歴史の一部に自分が関わり、世の役に立つことが目的となっている。

童話「3人のレンガ積み職人」が示すこと

- ★ 仕事に自分としての価値を見出すことの重要性
- ★ 「やらされ仕事」から「自分からやる仕事」への転換の重要性
- ★ 「何を目的にしているか？」の意識の重要性

「仕事」を「勉強」に置き換えると・・・

みんなは、以下のうちどれを選びますか？

- ただ勉強する？
- テストで良い点をとるために勉強する？
- 勉強の後に繋がる未来があって、そのために今勉強する？

伸びる生徒の特長 = 謙虚さ・直向きさ

- ★ 今の学びが自分の成長に繋がると信じられる生徒
- ★ 簡単なこと、当たり前のことを真剣に丁寧に心をこめてできる生徒

【藻岩高校の電話番号（訂正版）】

0 1 1 - 5 7 1 - 7 8 1 1 (学校代表電話)

0 1 1 - 5 7 1 - 0 2 8 1 (1年次直通)

年次通信0号の記載に一部誤りがありましたので訂正します。

遅刻・欠席の連絡をはじめ、1年次の先生に用事がある場合には、1年次直通の電話番号を利用してください。